

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
8	中 原 力	社 民	市 立 病 院 長	関 係 局 長

発言の要旨

<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市民の協力に対する評価</p> <p>(2) 市民の不安を軽くすることが政治の役目ではないか、そのためにやるべきこと</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症への対応による本市職員への影響等について</p> <p>(1) 業務への主な影響</p> <p>(2) 人事異動及び併任の状況</p> <p>(3) 会計年度任用職員の採用者数と主な配属先</p> <p>(4) 100人採用ということだが今後の考え方</p> <p>(5) 負担軽減の取組状況</p> <p>(6) 今後の考え方</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症による本市事業に対する影響について</p> <p>(1) 新年度当初予算に計上された事業で延期・中止になった主な事業</p> <p>(2) 本年度中止になった事業数</p> <p>(3) 延期・中止になったことによる市民生活への影響</p> <p>(4) 中止になった事業費の総額と財源（国・県・市）</p> <p>(5) 可能な限り早期に補正予算を組むべき</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症による本市の施設の利用休止について</p> <p>(1) 利用休止した本市の施設数</p> <p>(2) 施設の運用体制（直営、指定管理、業務委託等ごとに）</p> <p>(3) 従事者数の休止前と休止後の比較</p> <p>(4) 従事者の勤務内容、勤務時間、賃金に対する影響と対応</p> <p>(5) 利用料金制導入施設数と主な施設及びその影響額と対応</p> <p>(6) 契約変更等への影響</p> <p>(7) 今後の考え方</p> <p>5 ごみ量に対する新型コロナウイルス感染症の影響について</p> <p>(1) 2019年度の家庭ごみ量の分析と要因</p> <p>(2) 今後の家庭ごみ量の推移</p> <p>(3) 家庭ごみマイナス100グラムの取組への影響</p> <p>(4) ごみの有料化の判断への影響</p> <p>(5) 今後の考え方</p>
--

6 水道事業について

- (1) 水道の基本料金の免除の概要と影響額
- (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用の考え方
- (3) 水道事業の経営や市民や職員への影響

7 市立病院における新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 市立病院の職員が公務中、公務外にかかわらず注意することは何か
- (2) 職員の安全を確保するための防護服、マスク、手袋等の感染防止に必要な物品の確保は万全か
- (3) 本市が導入している職員の時差出勤を市立病院にも導入する考えはないものか
- (4) 市立病院の職員が業務上の都合、または家族との接触を避ける場合も含めて、宿泊施設を確保する考えは
- (5) 患者の命を救うためにも、職員の適正な人員配置が必要だと考えるが、その見解

8 川上地域の課題について

- (1) 県道鹿児島蒲生線について
 - ① 当局の認識
 - ② 現在の進捗状況
 - ③ 今後のスケジュール
- (2) 市道川上上通線について
 - ① 当局の認識
 - ② 現在の進捗状況
 - ③ 今後のスケジュール